

2.6 地盤沈下の状況



図-2.25 九十九里浜沿岸の地盤高の観測点

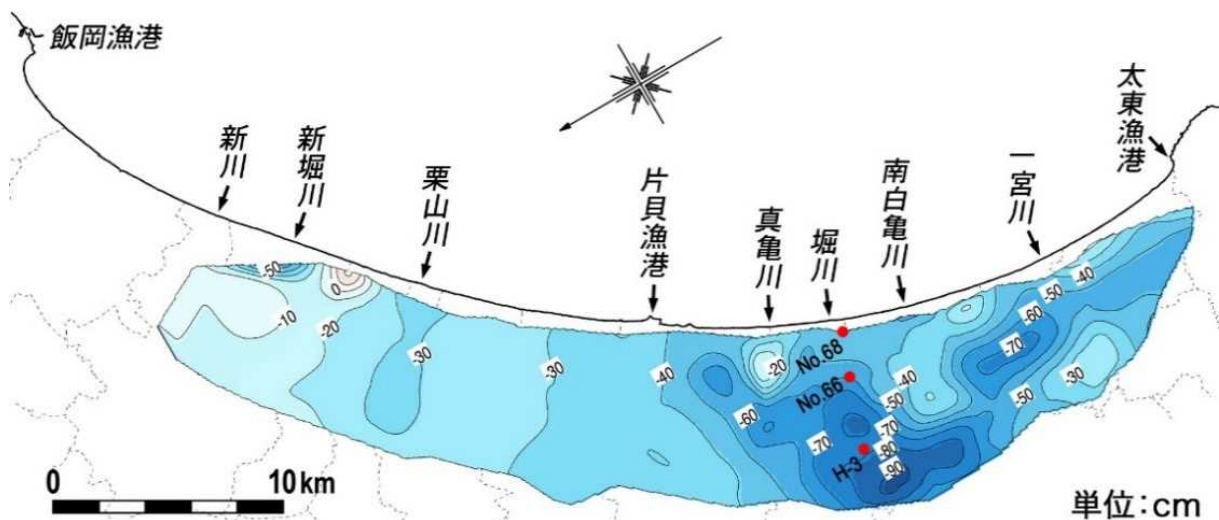


図-2.26 九十九里浜沿岸の地盤沈下量 (1974～2015年)

九十九里平野における地盤沈下の状況を示します。特に南九十九里背後の平野部では、ほぼ全域で地盤沈下が進行しています。

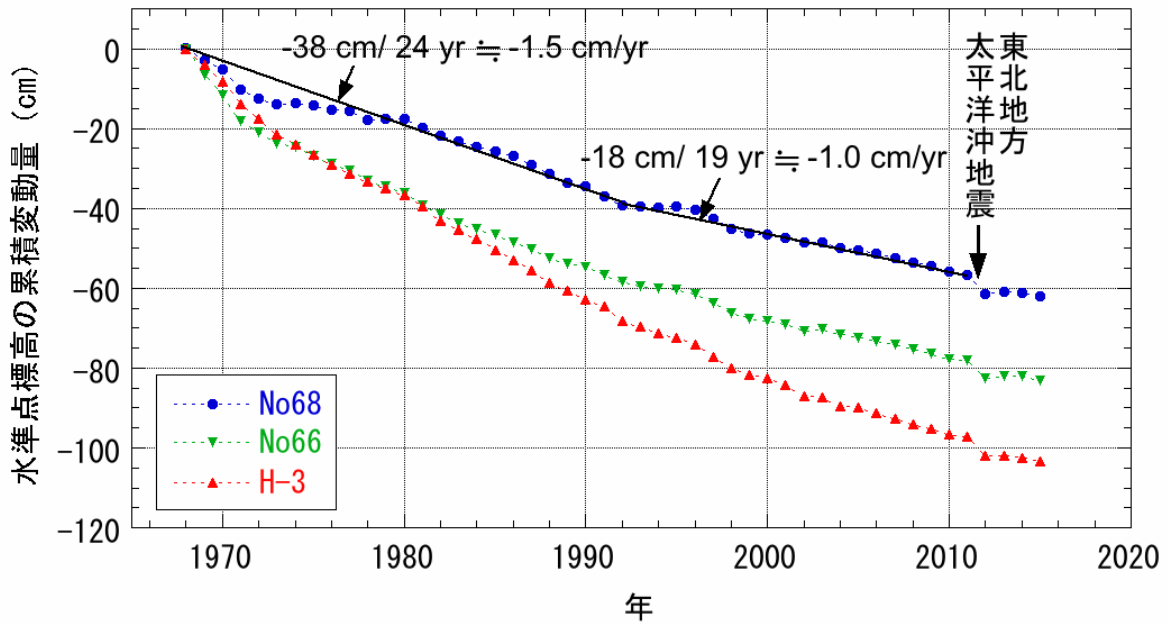


図-2.27 1968年を基準とした累積地盤沈下量の推移

図-30 に示す No.68、No.66、H-3 の 3 地点について、1968 年を基準とした累計地盤沈下量の推移を示します。

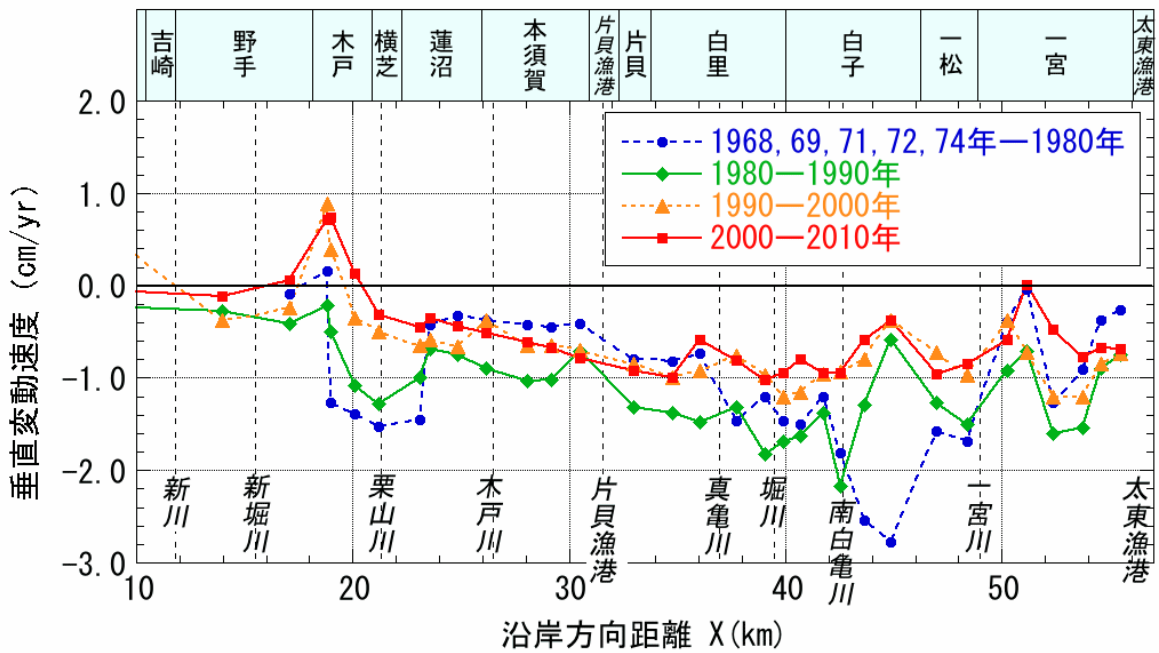
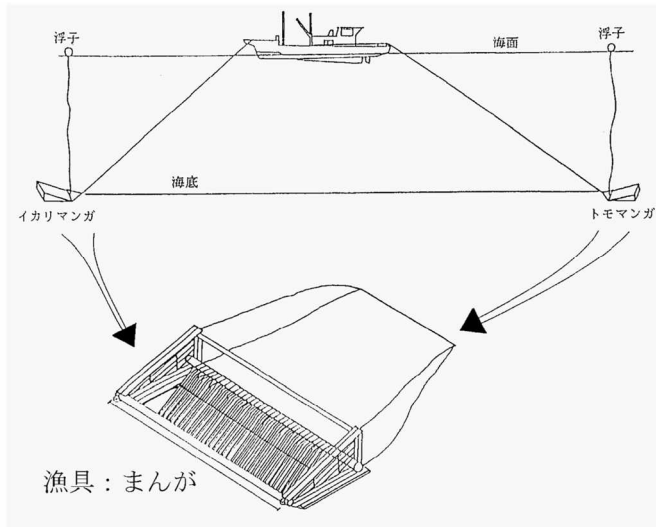


図-2.28 年代別の地盤沈下速度の沿岸分布

吉崎海岸から太東漁港までの年代別の地盤沈下速度の分布を示します。

2.7 漁業資源の現況

【貝桁網漁法】



【腰巻き漁具：腰カッター】



図-2.29 貝類の漁獲方法

九十九里浜は、貝桁網漁法や腰巻き漁具等を使用して、ハマグリや ナガラミ等の貝類を漁獲しています。

- ・ 成貝：水深5～6mに生息，7～8月に産卵
- ・ 幼生：産卵後の浮遊幼生は岸近くのヨブ（トラフ）に着底
- ・ 稚貝：岸近くに生息して翌春には汀線付近に出現
成長とともに沖合に移動

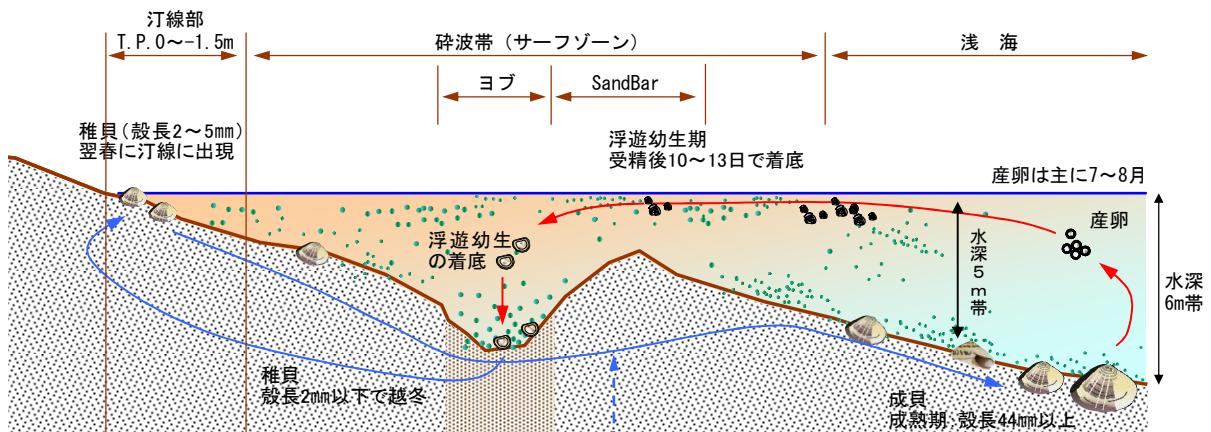


図-2.30 ハマグリのライフサイクル

例として、ハマグリのライフサイクルについて示します。

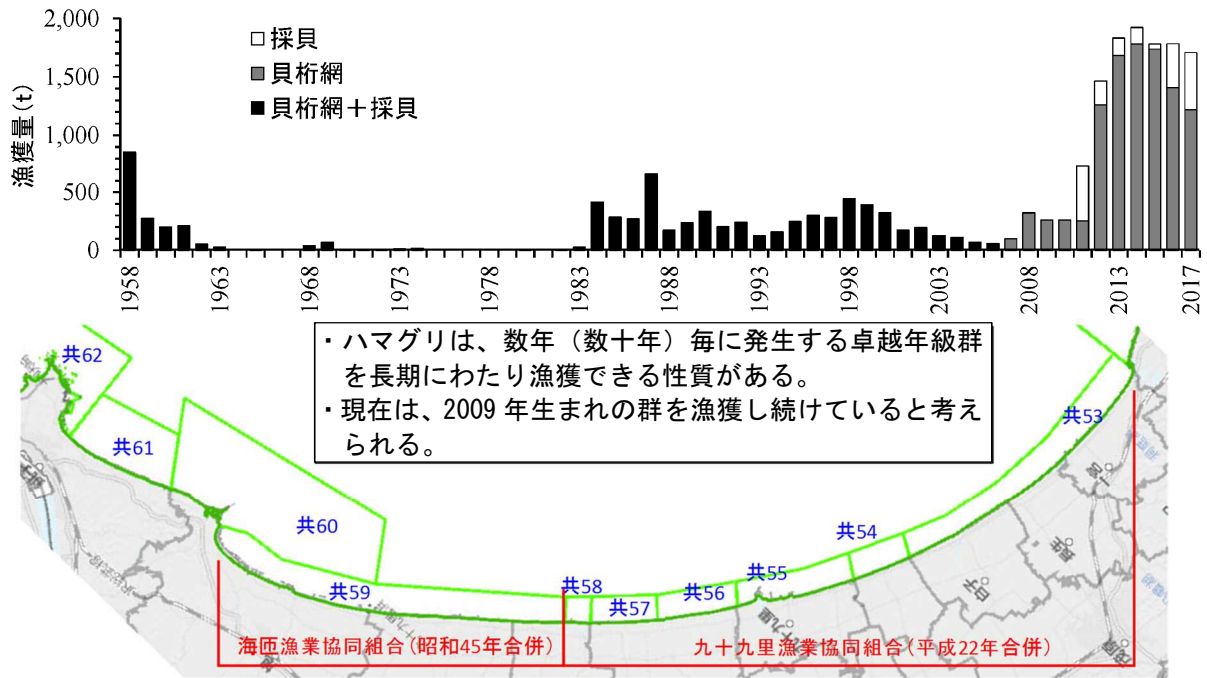


図-2.31 貝類の漁獲高の変遷(千葉県漁況旬報)

九十九里浜における貝類の漁獲高の変遷を示します。

2.8 海岸保全施設の整備状況

表-2.1 ヘッドランド・養浜の整備状況

整備内容	海岸	当初計画	実施状況	備考
ヘッドランド	北九十九里	12基	概成7基 未成5基	昭和63年(1988年) ~ 平成30年(2018年)
	南九十九里	10基	概成10基	
養浜	北九十九里	10~15万m ³ /年	未実施	平成17年(2005年) ~ 平成30年(2018年)
	南九十九里	初期養浜21万m ³ 維持養浜 3万m ³ /年	30万m ³ (平均2.2万m ³ /年)	

北九十九里と南九十九里では、ヘッドランドの整備を実施しています。南九十九里では、一宮海岸で養浜を実施しています。

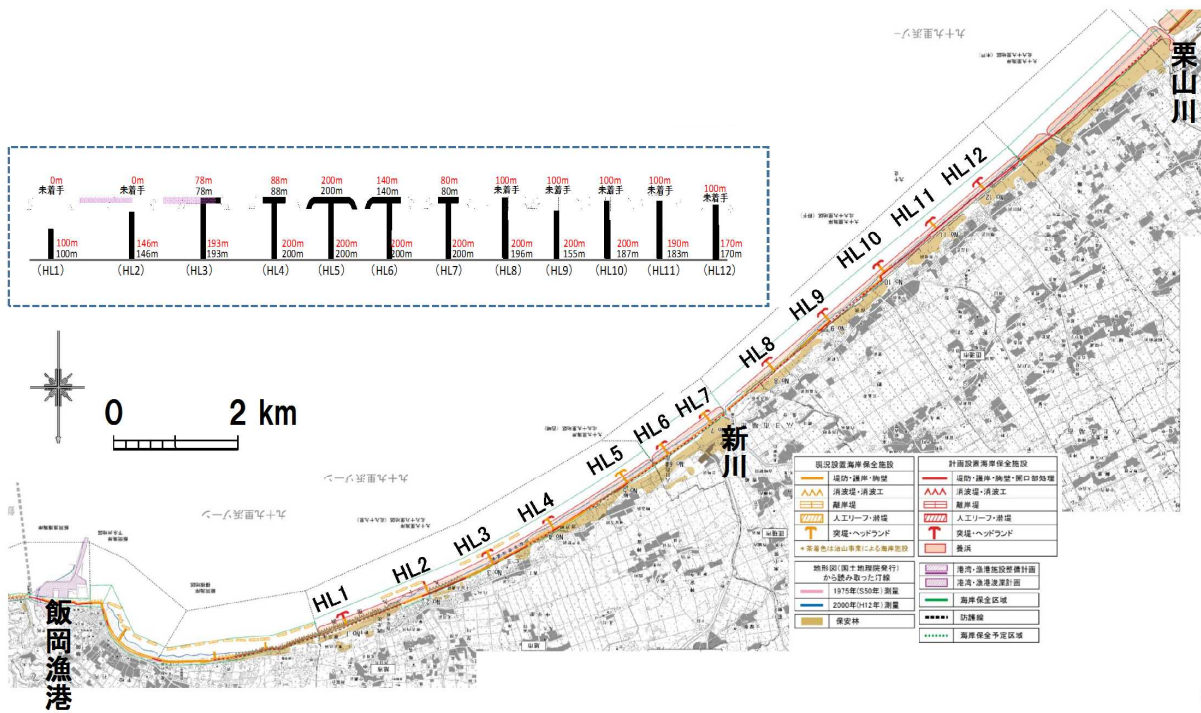


図-2.32 北九十九里浜におけるヘッドランド整備状況

北九十九里におけるヘッドランドの整備状況を示します。

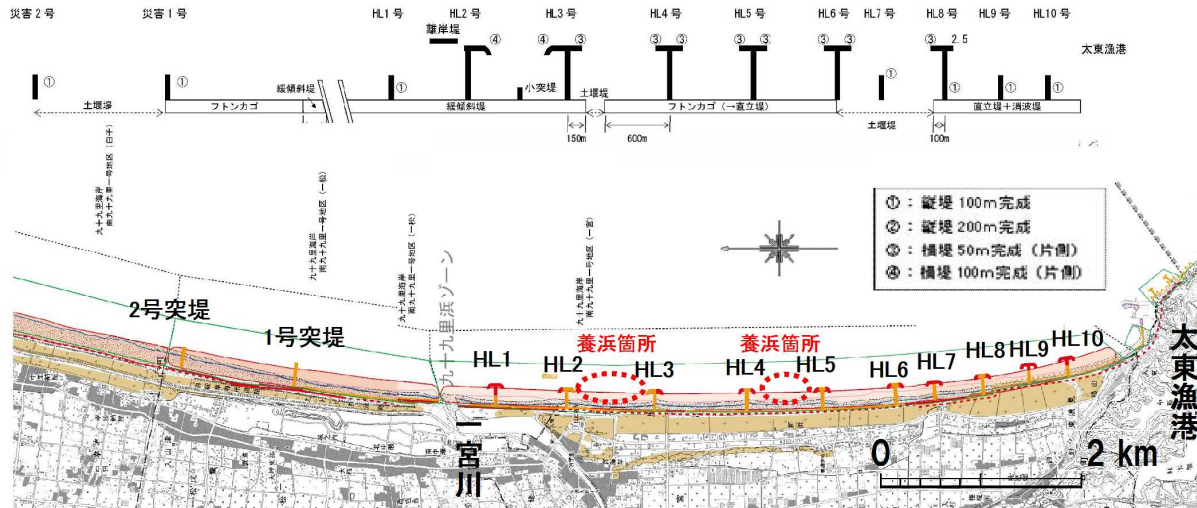


図-2.33 南九十九里浜におけるヘッドランド整備状況

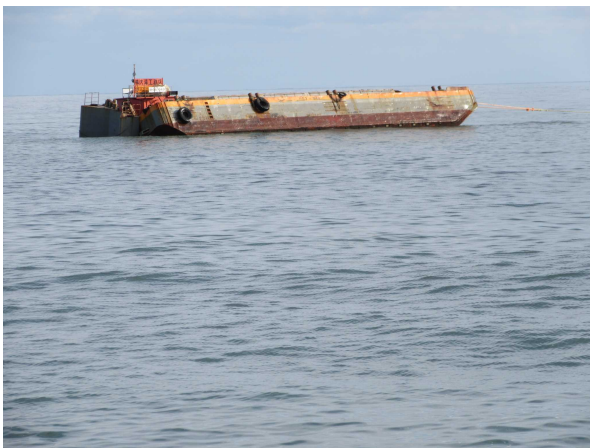


図-2.34 一宮海岸 2～3号ヘッドランド沖での海上養浜

南九十九里におけるヘッドランド整備状況・海上養浜状況を示します。